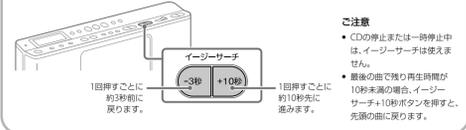


CD 語学学習に便利な機能を使う

再生位置を進める / 戻す(イージーサーチ機能)

CD再生中にイージーサーチボタンを押すことで、音声を戻して聞きなおしたり、進めて聞くことができます。

イージーサーチボタンを押して、再生位置を前後に移動する。



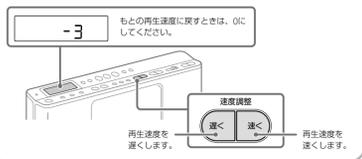
- CDの停止または一時停止中は、イージーサーチは使えません。
- 最後の曲で残り再生時間が10秒未満の場合、イージーサーチ+10秒ボタンを押すと、先頭の曲に戻ります。

CDの再生速度を変更する(デジタルピッチコントロール機能)

語学学習などで再生速度を調節したいときに使用します。CDの再生速度は0.5倍速から1.5倍速の11段階で変更できます。ただし、WMAディスクの場合は0.5倍速から1.2倍速の8段階です。

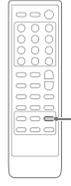
再生速度(倍速)	表示	
×0.6	-5	(遅く)
×0.6	-4	
×0.7	-3	
×0.8	-2	
×0.9	-1	
×1.0	0	(標準)
×1.1	+1	
×1.2	+2	
×1.3	+3	
×1.4	+4	
×1.5	+5	(速く)

速度調整ボタンを押して、再生速度を変更する。



リモコンで再生速度をもとに戻すには

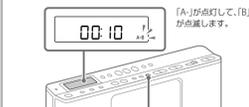
速度調整 標準ボタンを押す。



必要な部分だけ繰り返し聞く(A-Bリピート機能)

聞きたい部分の始めと終りを指定して、繰り返し聞くことができます。

1 再生中にA-Bボタンを押して、A点を指定する。



2 もう一度、A-Bボタンを押して、B点を指定する。



A-Bリピート範囲の指定をやめるにはB点を指定する前に再生ボタンを押します。A点の指定が解除され、通常の再生に戻ります。

A-Bリピート再生をやめるにはA-Bリピート再生中に、A-Bボタンを押す。A-Bリピート設定が解除され、通常の再生に戻ります。

A-Bリピート再生を停止するにはA-Bリピート再生中に、>>> (CD再生/一時停止) ボタンを押す。

A-Bリピートの設定を保持したまま再生が止まります。もう一度<<< (CD再生/一時停止) ボタンを押すと、A-Bリピート再生が開始します。

サーチ機能を使ってA-BリピートのB点を設定するには再生中に>>>ボタン(早送り)または<<<ボタン(早戻し)を押し続けて、B点を指定する位置を探ることができます。同様にイージーサーチボタンを押して再生位置を移動し、指定する位置を探すこともできます。

♪ ちょっと一言

- A点より前の位置でもB点に指定できます。再生位置を探して先頭で移動すると、先頭をB点としてA-Bリピート再生が始まります。

A-Bリピートの範囲を変えるにはA-Bリピート再生中に、<<< A-Bボタンを押して通常の再生に戻してから、手順1と2を行う。

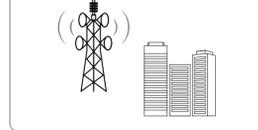
♪ ちょっと一言

- A点を指定したあと、<<< A-Bボタンを押すとCD-DAトラック(曲や音源データまたはオーディオファイルの終わりまで再生)と再生が止まり、この位置をB点としてA-Bリピート再生が始まります。

ラジオ を聞く

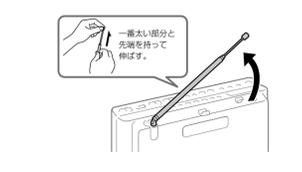
ワイドFMについて

本機は、ワイドFM (FM拡充放送)に対応しています。ワイドFM放送とは、AM (中波) 放送局の放送エリアにおいて、難受対策や災害対策のために従来のFM放送用の周波数(76MHz ~ 90MHz)に加えて、新たに割り当てられた周波数(90.1MHz ~ 95MHz)を用いてAM番組を放送することです。

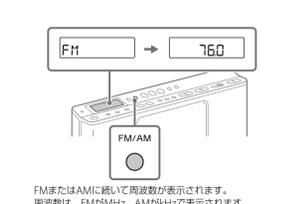


1 FMアンテナを立てて伸ばす(FM放送を受信する場合のみ)。

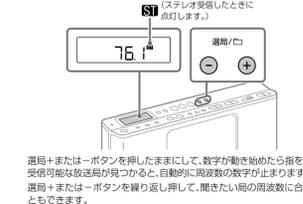
AM放送を受信する場合は、FMアンテナを立てる必要はありません。AM受信用のアンテナは本体に内蔵されています。



2 FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。



3 選局+または-ボタンを押して、周波数合わせる。



受信状態を良くするには

(FM放送、AM放送共通)

窓際など、電波を受信しやすい場所で使ってください。また、受信したい放送に合わせてアンテナを調整してください。

FM放送のとき

- アンテナの長さ、角度の調整

FMアンテナを最大限に伸ばし、角度を調整する。

本体にぶつかると自動的にアンテナを折りたたみます。また、アンテナを破損する恐れがあります。

AM放送のとき

本体を最も受信状態の良い方向へ向けると、AMのアンテナは本体に内蔵されています。

電波が弱く自動登録された放送局があるときや、特定の登録局番号を受信できない場合は、登録済みの放送局番号を選んで登録してください。

1 登録済みの放送局番号を受信する。

2 登録局番号が点滅するまで、決定ボタンを押したままにする。

3 使用したい登録局番号が点滅するまで、登録局選択+または-ボタンを繰り返し押す。

リモコンでは、番号を入力して登録局番号を選ぶこともできます(ダイレクト入力)。例えば、登録局番号3の場合は3が点滅するまで数字ボタン3を押したままにします。

登録局番号2の場合は、+10ボタンを2回押してから、20が点滅するまで数字ボタン2を押したままにします。

ダイレクト入力の場合は手順4が不要です。

♪ ちょっと一言

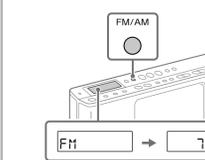
- 登録した放送局は、電源コードを抜いたり、乾電池を取り出したとしても保持されます。

ラジオ 放送局の自動登録機能を使う

放送局を登録する

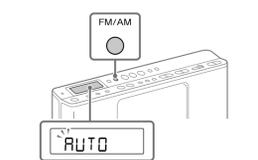
本機が検出して受信状態の良い放送局を自動的に登録します。FMとAMのそれぞれについて手順1から3を行ってください。FM：20局、AM：10局で、合計30局まで登録できます。

1 FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。



FMまたはAMに選んだ周波数が表示されます。

2 「AUTO」が点滅するまで、FM/AMボタンを押したままにする。

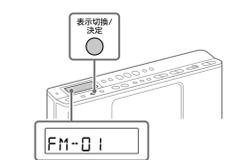


登録局番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ、受信状態の良い局を自動的に登録します。もう一度、登録局番号FM 01 (またはAM 01)が表示されて放送が流れると完了です。

登録された放送局を聞く

登録局番号を選択してから放送を聞くことができます。

FMまたはAMを選んでから、登録局選択+または-ボタンを押して、聞きたい局の登録局番号を選ぶ。



登録局番号が表示されます。

番号入力で登録局を選ぶには

「リモコン」の数字ボタンを使ってCDの曲名やラジオの登録局番号を入力する(ダイレクト入力)。(おもて面)をご覧ください。

放送局を手動で登録するには

電波が弱く自動登録されなかった放送局があるときや、特定の登録局番号を受信できない場合は、登録済みの放送局番号を選んで登録してください。

1 登録済みの放送局番号を受信する。

2 登録局番号が点滅するまで、決定ボタンを押したままにする。

3 使用したい登録局番号が点滅するまで、登録局選択+または-ボタンを繰り返し押す。

リモコンでは、番号を入力して登録局番号を選ぶこともできます(ダイレクト入力)。例えば、登録局番号3の場合は3が点滅するまで数字ボタン3を押したままにします。

登録局番号2の場合は、+10ボタンを2回押してから、20が点滅するまで数字ボタン2を押したままにします。

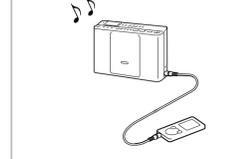
ダイレクト入力の場合は手順4が不要です。

♪ ちょっと一言

- 登録した放送局は、電源コードを抜いたり、乾電池を取り出したとしても保持されます。

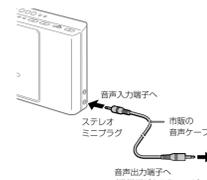
外部機器をつないで聞く

デジタルミュージックプレーヤーなどの外部機器を本機の音声入力端子につないで、スピーカーから流れる音を楽しむことができます。

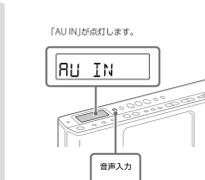


- 本機から大きな音が出るのを防ぐため、あらかじめ外部機器と本機側の音量を下げておいてください。

1 外部機器を本体側面の音声入力端子につなぐ。



2 音声入力ボタンを押す。



3 つないだ機器で再生を始める。

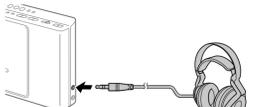


- ご注意
- 接続した外部機器の出力端子がモノラルジャックの場合は、本機の右側スピーカーから音が出る場合があります。
- 接続した外部機器の出端子がラインアウト端子の場合は、ひずみが発生する場合があります。音がひずんだ場合は、ヘッドホン端子につないでください。
- 接続した外部機器の音量が高すぎる場合、音が割れたり、ひずんだりすることがあります。その場合は、外部機器側で音量を下げ、適度な音量で聞いてください。
- 接続入りの音声ケーブル(ステレオミニ)を使用すると音量が小さくなる場合がありますので、低音は別の音声ケーブル(ステレオミニ)をご使用ください。

ヘッドホンをつないで聞く

ヘッドホン(別売)でCDやラジオ、外部機器の音源を聞くことができます。スピーカーからは音が出なくなります。

ヘッドホン(別売)を(ヘッドホン)端子につなぐ。



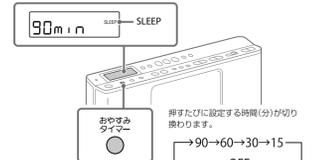
ご注意

- 音量を調節して、耳を刺激しないように適度な音量で聞いてください。

おやすみタイマーを使う

設定した時間が経過すると、自動的に本体の電源が切れます。

おやすみタイマーボタンを押して、時間を設定する。



操作しない時間が約4秒続くと、表示窓のライトが消えてタイマーが開始します。タイマーを使わないときはOFFを選んでください。

電源が切れるまでの時間を確認するにはタイマー開始後におやすみタイマーボタンを押す。

♪ ちょっと一言

- タイマー開始後、音量+/-ボタンなどを押すと、表示窓のライトは約4秒間点灯します。

安全のために

機器を本箱や組み立て式キャビネットのような筐体に取り付けられるようにここに設置しないでください。

火災や爆発の危険をきたすために、本機を水のぬかる場所や湿気のある場所で使用しないでください。

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常発生した場合迅速かつコンセントから抜いてください。通常、本機の電源ボタンを押して電源を切っただけでは、完全に電源が切り離されません。

本機の上に花冠などの水の入ったものを置かないでください。

火災や爆発の危険をきたすために、本機を火気のそばで使用しないでください。

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しないでください。引火のおそれがあります。

火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中、直射日光の下など、高温の場所で使用・保管しないでください。

付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

電機は、直射日光、火などの温度変化にさらさないでください。

修理は本機の裏面に表示されています。

ご注意

- この製品には充電機器を使用すると、目の危険を及ぼすことになります。

レーザの仕様

- 放射時間：連続
- レーザ出力：446μW 未満

この出力は、7mmの開口部に光学ピックアップブロックの対物レンズ面より200mmの距離で測定したものです。

使用上のご注意

取り扱いについて

- CDの表面が汚れたまま放置しないでください。内部にゴミほこりが入り、故障の原因になることがあります。

設置時のご注意

- 本機のスピーカーには強力な磁石が取り付けられているので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。

- 時計
- クレジットカードなどの電気カード
- キーチェーン、ビデオテープなどの電気テープ

また、本機をテレビの近くに設置しないでください。テレビの画面が乱れることがあります。

ヘッドホン(別売)使用時について

- 音量を調節して、耳を刺激しないように適度な音量で聞いてください。

商標

本機はFujitsu (富士通) および Thomson (MPEG Layer 3オーディオコーデック) 技術と特許に基づいて開発されています。

MicrosoftはMicrosoftの知的財産権の対象である特許を保持しています。Microsoftから使用許諾を得ることなく、この技術を製品以外で使用または頒布することは禁止されています。

その他、本機に搭載されているシステム名、製品名、一部は各販売メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本機中には、「マーク」が埋め込まれています。

ご使用時 約1kg (乾電池、CD含む)

電源コード(1)、リモコン(1)、リモコン用単一乾電池(2)、安全のため(1)、取扱説明書 (保証書付)

* JET (電子情報処理業務者) 特許による登録商標。

* ソニー(株) (S) アルカリ乾電池特許。同様の構造や使用状況、電池のメーカーや種類により、上の電圧持続時間と異なる場合があります。

本機の仕様および外観は、改良のための予告なく変更することがあります。ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 保証期間：ご購入日より3年間(保証書に記載)。

保証書は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

お読みください。保証書には、サポートページ(サポートページのご案内) (おもて面) 参照) の情報も参照してください。

それとも具合が悪いときは

お買い上げ店またはソニーの相談窓口(おもて面参照)にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社は、(有線)オーディオシステムの補修用消耗部品(製品の機能を維持するために必要)を製造しつ切り後も6年間保有しています。ただし、故障状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式 コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

チャンネル数 2チャンネル

出力フラット

記録特性 変調方式(下:J-ETM*)

20 Hz ~ 20,000 Hz

MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)

ビットレート 32 kbps ~ 320 kbps, VBR

サンプリング周波数 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz

WMA

ビットレート 48 kbps ~ 192 kbps, VBR

サンプリング周波数 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz

ラジオ部

受信周波数 FM: 76.0 MHz ~ 108.0 MHz

AM: 531 kHz ~ 1,710 kHz

FM/CDアンテナ

AM: フェライトバーアンテナ内蔵

共通部

フルレンジ5 cm. コーン8Ω, 2倍

最大出力(100V 50/60Hz) 10W (両側)

消費電力 10W

電池持続時間(標準)

約15時間(音圧130dB)

最大外形寸法 約118 mm x 172 mm x 70 mm

質量 約1kg

付属品 電源コード(1)、リモコン(1)、リモコン用単一乾電池(2)、安全のため(1)、取扱説明書 (保証書付)

* JET (電子情報処理業務者) 特許による登録商標。

* ソニー(株) (S) アルカリ乾電池特許。同様の構造や使用状況、電池のメーカーや種類により、上の電圧持続時間と異なる場合があります。

本機の仕様および外観は、改良のための予告なく変更することがあります。ご了承ください。

再生できるディスク

ディスクを再生するときは、ディスクの種類を確認し、本機に対応するディスクをご利用ください。

ディスクの種類	曲/ファイルのフォーマット	対応
CD、CD-R/CD-RW*	CD-DA*	可
CD-R/CD-RW*	MP3	可
CD-R/CD-RW*	WMA	可
SA-CD (スーパーオーディオCD)	CD音	不可
DVD BD (ブルーレイディスク)	CD音	不可

再生できるファイルについて

- MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)

拡張子: mp3

WMA (Windows Media Audio)

拡張子: wma

データCD (MP3/WMA) についてのご注意

本機は再生対象として認識できるデータCDのフォーマットは、次のとおりです。

- 最大フォルダ数: 256 (ルートフォルダ含む)
- 最大ファイル数: 999

ディスクを再生するときは、ディスクの種類を確認し、本機に対応するディスクをご利用ください。

ディスクの種類を確認し、本機に対応するディスクをご利用ください。

ディスクの種類を確認し、本機に対応するディスクをご利用ください。